

# Junack

## デイズ&ルークス用ワークランプ取付け要領書

この度は、Junack 製品をお買い上げいただきましてまことにありがとうございます。本書はレディストワークランプの取扱い、及び取付け作業について記載してあります。取付け前には本書を必ずお読みいただき、正しい取付けを行って下さい。本要領書に記載されている分解方法、イラスト(画像)、及び作業方法はあくまでも一例です。車両ごとに脱着方法、取付け方法が異なりますのでお取付けの際はお車の整備書等をご確認の上車両に適した手順で作業を行って下さい。また、本書はなくさないよう大切に保管して下さい。

### 取付けご担当様へお願い

本書記載の内容・注意事項をよく読み正しくお使い下さい。本書に記載されていない取付け方法は行わないで下さい。また、内容・注意事項をお客様にご確認いただいた上で作業を行うようにして下さい。

### お客様へお願い

本書とご購入時の販売証明書(品番が記載されたレシートや領収書)は大切に保管しておいて下さい。販売証明書の提示がない場合は、保証修理・交換ができません。

### 安全に関する表示

この説明書の中で使用されている記号は、次のようになっています。

**警告**、**注意**、**注記**、**アドバイス**のところは、とくにしっかりお読み下さい。

<b>警告</b>	取付け・取扱い方法を誤った、または守らなかった場合、死亡または重大な傷害につながるおそれがある内容です	<b>注記</b>	取付け・取扱い方法を誤った、または守らなかった場合、物的損害につながるおそれがある内容です。
<b>注意</b>	取付け、取扱方法を誤った、または守らなかった場合、傷害につながるおそれがある内容です。	<b>アドバイス</b>	この用品のために守っていただきたいこと、または知っておくと便利な内容です。

### 構成部品

構成部品			NO.	部品名称	数量
①	②	③	①	灯体本体	1
			②	LWL-3002	1
			③	灯体本体	1
④	⑤	⑥	④	クッションテープ	1
			⑤	面ファスナー	1
			⑥	化粧シール	1
⑦	⑧		⑦	製品保証書	1
			⑧	動作説明書	1

### 推奨準備工具

※【内貼り固定用クリップ<sup>o</sup>×2】を別途ご用意下さい



## 取付準備作業

1. 取付作業は、安全な場所に車を駐車させ、パーキングブレーキを確実に操作して下さい。
2. 取付作業は、必ずエンジンを停止して行って下さい。
3. 取付作業の前に、必ずバッテリーの（-）側コードを外して下さい。また（-）側コードは（+）側コードと接触しないようにして下さい。
4. 構成部品及び部品点数が取付説明書通りになっているか、また不良部品の混在等はないかを確認して下さい。
5. オーディオ等の設定をメモしておく、後の調整がスムーズに行えます。

## 取扱い方法

本製品に付いた汚れは、薄めた中性洗剤を含ませた布で拭き取り、水拭きにて仕上げして下さい。  
長時間放置すると、汚れが取れにくくなったり、樹脂部品の劣化の原因になります。  
本製品に強い衝撃を与えないで下さい。故障や破損の原因となります。

## 注 記

- ・ワークランプ取付け位置については、弊社で取付け確認した位置となります。
- ・車両によってキーレスエントリー等のアンサーバック時、ルームランプと同様に点灯しますが異常ではありません。
- ・本製品はLEDのため、消灯時に車両によっては残照機能により、点滅することがありますが異常ではありません。

## ワークランプ 配策イメージ



 クリップ取外し位置

# ワークランプ取付け手順

## ①クッションテープと面ファスナーをカット

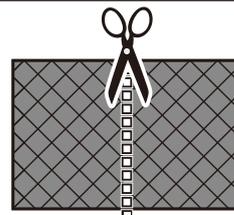
画像 1 を参考に、付属の面ファスナーをハサミ等で半分に切る。

半分に切った面ファスナーを、画像 1-2 を参考に、灯体本体の空いている場所に貼ります。

画像 1-3 を参考に、付属のクッションテープをハサミ等で 3 等分にカットします。

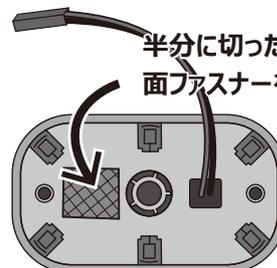
画像 1

半分に切る



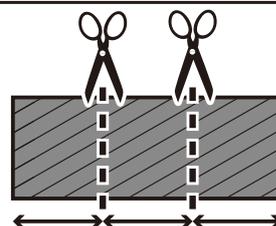
画像 1-2

半分に切った  
面ファスナーを貼る



画像 1-3

3 等分に切る



## ②クリップの取外し、配線逃し加工

前頁の配策イメージ図  印部分を参考に 2 箇所のクリップを樹脂製のクリップリムーバー等使用して取外して下さい。

内貼りを傷付けないよう、当て板などで保護しながら作業して下さい。

取外し後に、ワークランプの取付け位置にある 1 箇所の内貼りクリップ穴に、カッター等を使って「切り込み」を入れます。画像 2-2 を参考に、運転席側へ向かって車両横方向に切り込みを入れます。

**×** 印のクリップ穴は絶対に切らないで下さい。

この切り込みは配線を逃すの為なので、画像 2-3 を参考にクリップ穴より 15 ~ 20mm 程度を運転席側に向かって車両横方向に切って下さい。

### 注記

切り込みを入れる方向・長さをしっかり確認してから作業を行って下さい。

画像 2



当て板等を使用する

画像 2-2

切る  切らない 

車両横方向  
(運転席側)へ  
向けて切る

切り込みを入れる向きに注意

画像 2-3



クリップ穴

15mm~20mm 程度

車両横方向  
(運転席側)  
へ向けて切る

### ③モール取外し

モールを外します。

モールを外す際、内貼りが汚れる懸念がある場合は画像3《黄色斜線部分》のようにモールが接している内貼り部分に養生テープ等を貼り、汚れ等が付着しないように保護して下さい。



### ④ラゲッジランプユニット取外し

ラゲッジランプユニットを車両整備書に基づいて外します。

レンズを外し、画像4-2のラゲッジランプユニット本体を外して下さい。

ラゲッジランプユニットを外したら、フェストン球を外して下さい。



### ⑤エッジ対策に養生テープを貼る

ラゲッジランプユニットを外したあと、  
画像5  印の場所に 40mm-50mmの長さの養生テープを貼り、エッジが出ないように保護します。

#### 注記

配線等が当たると、傷つける恐れがあるので必ず行って下さい。



### ⑥灯体本体をルームランプユニットに取付け

画像6を参考に灯体本体の発光面が正面を向くように取付けます。この時配線が下向きになっていることを確認して下さい。

#### 注記

画像6-2のように正面を向くように取付けて下さい。



#### アドバイス

フェストン球を外すと  
画像6-3  
のようになります。  
灯体本体の配線は  
そのまま後ろ側を入れて  
取付けして下さい。



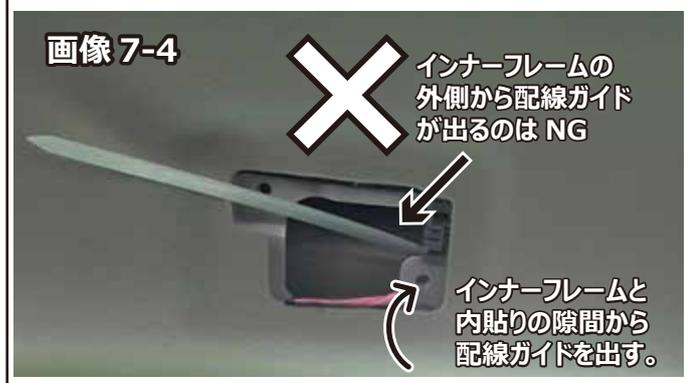
### ⑦ラゲッジランプユニットに配線を接続

画像 7 を参考に、モールを外した箇所から配線ガイドを入れ、  
画像 7-2 の場所から配線ガイドの先端を出します。

画像 7 を参考に、出した配線ガイドの先端 (手元側) に  
**LWL-3002 のメス側**を外れないよう養生テープなどで仮固定し、  
画像 7-3 のように LWL-3002 を室内側へ引き出して下さい。

#### 注 記

この時、画像 7-2 左側の○印のように  
内貼りとインナープレートの間から配線ガイドが出るように  
して下さい。画像 7-4 のように、インナープレートの外側  
から出ないように注意して下さい。



この時、LWL-3002 を引き出しすぎないように  
画像 7-3 を参考にして下さい。



### ⑧ラゲッジランプユニットに配線を接続

画像 8 を参考に、灯体本体に LWL-3002 を接続します。  
接続するコネクタはどちらでもかまいません。

画像 8 の「②灯体本体の接続無しコネクタ」を  
画像 8-2 〇印部分のように、  
ビニールテープなどで保護して下さい。

画像 8-3 □印部分を参考に、画像 8 の①と②を  
まとめて束ね、「①の接続部」と「②のコネクタ部分」を  
保護できるように、本書 3P 手順①でカットしたクッションテープを  
しっかりと巻きつけます。

#### 👉 アドバイス

画像 8-4 のように  
2 本を束ねて、  
クッションテープを  
巻きます。

画像 8-4



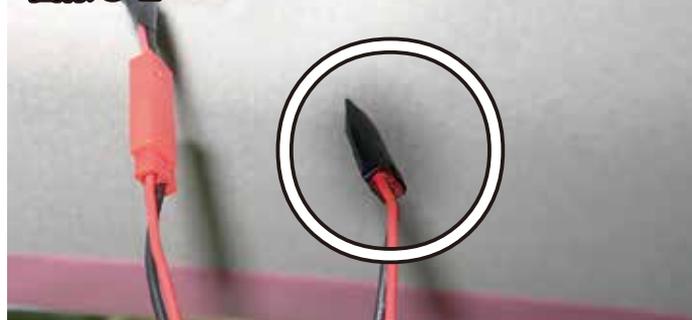
#### 注記

これらの処理は必ず行って下さい。  
また、ビニールテープやクッションテープが剥がれたり  
抜けないうっかりと巻きつけて下さい。

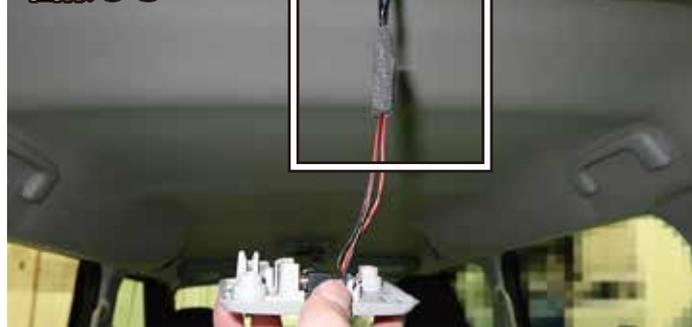
画像 8



画像 8-2



画像 8-3



画像 9



### ⑨ラゲッジランプユニットを戻す

画像 9 を参考に、配線が内側でたるまないよう  
本書 6P 画像 7 から配線を外に引き出しながらインナープレートと  
内貼りの間に入れ込み、ラゲッジランプユニットを戻します。

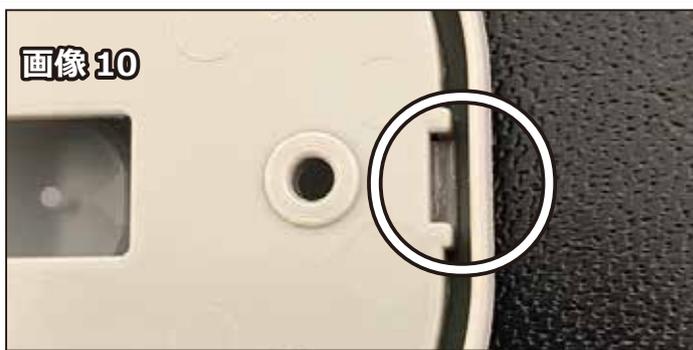
#### 注記

クッションテープの部分が引き出しにくい場合がありますが、  
無理に引っ張ったりしないで下さい。断線やクッションテープが  
剥がれる原因になります。  
また、配線を引っ張りすぎると、LED バルブの向きが  
傾いてしまうため、極端に引っ張らないで下さい

### ⑩ 灯体本体のレンズ取外し

灯体本体の裏側、画像 10 の  印部分を、  
画像 10-1 のようにマイナスドライバー等で  
押し込むとレンズが外れます。

画像 10



画像 10-2



### ⑪ 灯体本体を内貼りに固定する

画像 11 のように、本書 3P 画像 1-2 で切り込みを入れた  
クリップ穴から灯体本体の配線を通します。

本書 6P、画像 7 と同じ位置から  
灯体本体の配線を引き出します。

この時画像 11-2 を参考に、余分な配線を  
切込みに挟み込み、

「①クリップ穴」と「②灯体本体の中心」を合わせるように、  
位置調整しながら配線を引き出して下さい。

画像 11-3 のように位置が合うところで  
面ファスナーが密着するように押し付けます。

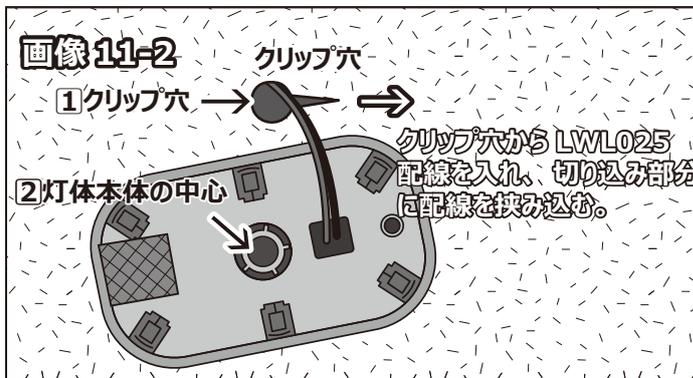
#### 注記

基板に直接触らないように注意して下さい。

画像 11



画像 11-2



画像 11-3



## ⑫コネクタ配線の接続

本書 6P、画像 7 の位置で画像 12 を参考に  
灯体本体と LWL-3002 のコネクタを接続します。

接続を終えたら 1 度灯体本体の点灯チェックをして下さい。

画像 12-2 〇印の部分参考に、  
灯体本体と LWL-3002 の接続部コネクタに  
2 枚目のクッションテープを貼り付けます。  
この時剥がれたりしないようにしっかり巻きつけて下さい。

画像 12-2 ○印部分の配線を 3 枚目のクッションテープを  
使ってまとめます。

画像 12-3 のようにまとめ、しっかり巻きつけて下さい。

内貼りから出ている配線をまとめたら、  
ボディと内貼りの隙間に収めます。

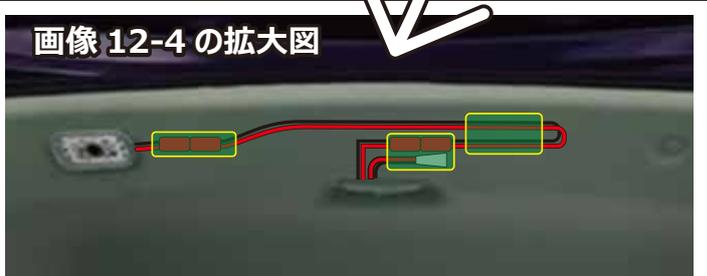
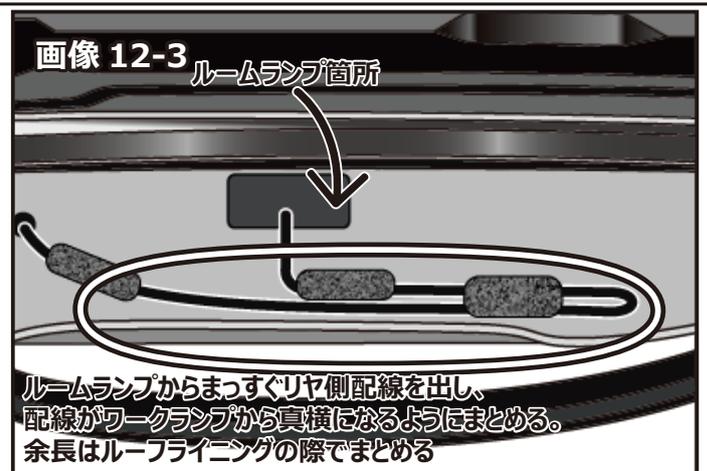
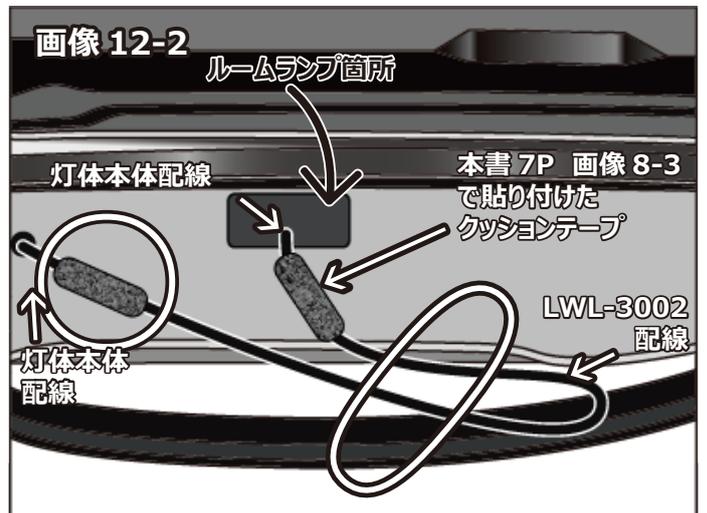
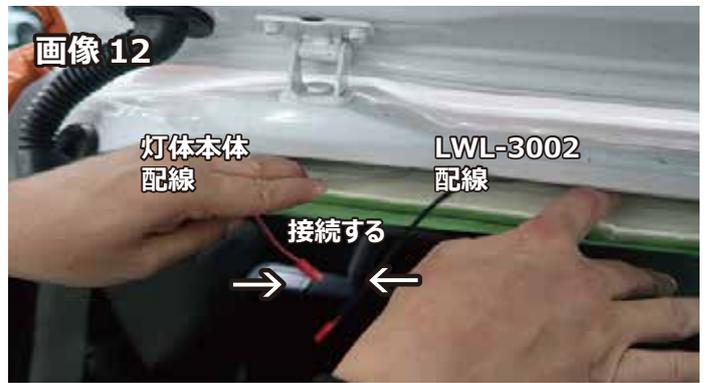
※内貼りを引き下げると、画像 12-3 のように  
パネルとライニングの間に隙があるので、  
余長とコネクタが十分格納できます。

画像 12-3 の ○印部分にまとめた配線を  
収めて下さい。

配線をまとめて内貼りの中に入れ込むと  
画像 12-4 のような配策になります。

### 注記

LED バルブの角度が曲がってしまうため、  
ラゲッジランプ側の配線を引っ張りすぎないよう  
注意して下さい。



**⑬クリップを装着**

位置が決まったら、新しいクリップで留めて下さい。  
(画像 13)



画像 13

**⑭点灯チェックをする**

灯体本体とラゲッジランプの点灯チェックをして下さい。  
画像 14 の図を参考に動作確認を行って下さい。  
また、車両すべての動作・機能が問題なく動作することを確認します。

画像 14

ワークランプはルームランプに連動し点消灯します。  
また、レンズを軽く押すと点灯 / 消灯できます。

ルームランプ	ワークランプ
点灯	点灯 / 消灯
ドア連動	点灯 / 消灯 (ルームランプ点灯時のみ)
消灯	点灯しません

**⑮ラゲッジランプレンズ及びワークランプレンズを装着する**

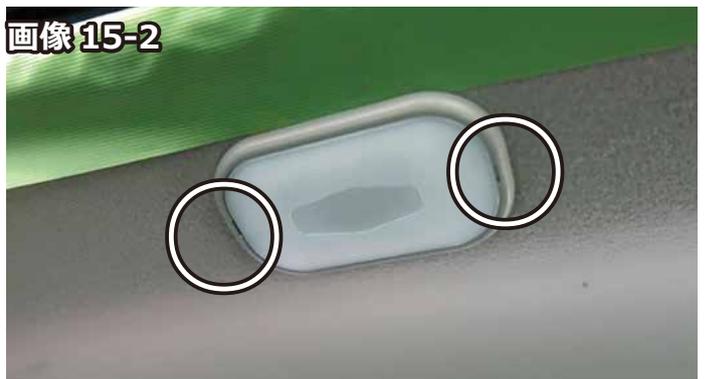
純正ルームランプレンズを装着して下さい。

ワークランプレンズを装着します。

画像 15-2 の ○ 印部分にあるハウジングの切り欠きに合わせて押し込み、固定して下さい。



画像 15



画像 15-2

**アドバイス**

この時、付属の化粧シールを貼り付けて下さい。  
(画像 15-3)



画像 15-3

**⑯外した部品を戻す**

取外した車両部品を復元します。

**アドバイス**

画像 16 ○ 印部分は新しいクリップを使用して下さい。



画像 16